

2024/11/18 (月)

朝の礼拝

聖書 マルコによる福音書 10 章 13-16 (新約聖書 80 頁)

イエスに触れていただくために、人々が子どもたちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子どもたちを私のところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。よく言っておく。子どものように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」そして、子どもたちを抱き寄せ、手を置いて祝福された。

主の憤り

イエスの時代、子どもの出生時死亡率は 30%、6 歳までも 30%、16 歳までには 60%が亡くなったと言われていています。お母さん、お父さんが子どもをイエスのもとへ連れて来ました。子どもの健やかな成長を願うのは、イエスも同じでした。

ところが子どもたちの現実には長男以外の男の子、女の子は教育も受けられず、家畜同様に労働力として売買されていました。命の危険と隣り合わせで、最も支えの必要な子どもたちに真逆のことが起きていました。それなのに弟子たちも子どもたちを叱って拒んだのでした。

するとイエスはこれを見て憤りました。イエスが憤るとは想像もできないかもしれませんが、原語では「激しく怒り」「邪魔をするな」とも訳せるほど憤慨しています。子どもたちを見下し、ぞんざいに扱えば、たとえ弟子であってもイエスは激怒したのでした。

イエスは「神の国はこのような者たちのもの」と言いました。それは弟子たちよりも子どもたちの方が神の愛を受けるにふさわしいという意味です。そして最後に子どもたちを抱き上げ祝福し、抑圧され、虐待されている子どもと共にいる幸いを示したのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはあなたの愛も最も必要としている子どもたちと共におられます。今週は創立記念日を覚える一週間となります。あなたはカナダの宣教師に、あなたの愛する子どもたちに仕える道を与えてくださいました。どうかわたしたちも世界であなたの愛を必要としている人たちに仕える道を示してください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン